

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。 生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえ、新教育課程の検討を進める。 ②生徒が主体的に学べるための授業研究を行う。 ・分かりやすい授業の実現を目指す。	①新学習指導要領の改訂に合わせ、選択科目を見直し教育課程の充実を図る。 ②各教科を中心に、「清南型アクティブラーニング」の授業形態の研究を継続し、その結果を共有する。	①新学習指導要領の改訂の趣旨を活かし、生徒のニーズに合った選択科目の検討ができたか。 ②科目担当者間での充実した討議ができたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	①外部の関係機関の人材と連携し、教育相談を推進する。 ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組を行う。 ②生徒が主体的に活動する環境づくりを進める。	①SCやSSWの存在の周知を図る。また、生徒に関する情報を迅速に収集し、必要に応じてSCやSSWにつなげる。 ・学校いじめ防止基本方針、とりわけいじめの定義や基本認識について教員・生徒に周知する。 ②学校行事などを通じて、生徒が主体的に活動できる環境づくりをする。	①SCやSSWの利用状況。生徒の情報を収集し精査するシステムが構築できたか。 ・いじめの定義や基本認識について、共通の概念をもつことができたか。 ②学校行事や委員会活動が生徒主体の運営となっていたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①キャリアサポート体制の充実を図る。	①年次段階に応じ、総合的にキャリア支援計画を企画実行する。 ・1年次生については職業理解を図るとともに新入試制度についての校内対応に取り組む。 ・2・3年次生については分野別ガイダンスを展開する。また進学費用にかかるガイダンスも行う。	①生徒観察。進路結果。進路カルテの活用状況。 ・教員が新入試制度への理解を深めたか。 ・生徒の進路学習活動、進路希望状況、進路達成状況とその内訳。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域の学校等と連携を推進し、地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・防災活動について地域との協働を図る。 ②教育活動の情報発信の充実を図る。	①部活動や生徒会活動を通して地域の小中学校等との連携活動を行い、生徒一人ひとりが社会の中での役割と責任を果たす機会を増やす。 ・シェイクアウト訓練やDIG研修などを通じて地域理解と防災意識を高め、地元自治会の防災活動との連携を図る。 ②教育活動の目的や意図とともに、生徒の様子を丁寧に説明し、本校への理解度の向上を図る。	①地域の小中学校等との連携活動の件数を増やし、内容を充実させることができたか。 ・地域理解活動の機会を設けられたか。また、地域と連携した防災活動はできたか。 ②ホームページが情報提供の媒体として、活用度が向上し、見やすさが改善されたか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。 ・三課程で連携実施する防災訓練を定着させる。 ②ICT機器の活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①学校安心安全管理計画の内容の充実と周知を図る。 ・三課程合同避難訓練の目標の明確化と内容の充実を図り、事後の検証を行う。 ②普通教室へのICT機器の整備を行い、授業や行事への積極的な利活用を呼びかける。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図れたか。 ・これまでの取り組みを整理し、今後の方針を確認できたか。 ②ICT機器の整備を進め、積極的な活用状況が見られたか。					